

4. 県政に関する意見（問28、報告書p.120～129）

【結果概要】

①担当課

知事公室 広報課

②調査目的

選択式質問においては、あらかじめ想定された選択肢に沿った回答が求められるため、県民意見の全体像を把握するのは困難である。このようなことから、広く県政に関する意見を聴取するために、自由記述による質問を実施し、テキストマイニング（自然言語処理）により、全体意見の要約と可視化、回答者属性による傾向の把握などを行う。

② 調査結果の分析・考察

- 県政に関する意見として得られた自由記述回答は、テキストマイニングにより集計および可視化分析を行う。テキストマイニングは、文章をまずキーワードに分割し（形態素解析）、分割したキーワードの出現頻度およびキーワード間の関係性を集計し、各種統計手法および機械学習手法により可視化、分析することを基本とする。本調査では、回答者全体的な話題の要約および可視化のために共起ネットワークグラフを用い、性別や年代、居住地などの回答者属性別の傾向の分析に対応分析を用いる。
- 共起ネットワークグラフは、一つの文章内で同時に出現（共起）するキーワード間に何らかの関連性があると仮定して集計し、出現頻度が上位のキーワード（点）と関連性（線）から成るネットワークグラフとして可視化したものである。共起ネットワークグラフは、数理的な手法により内部の密接につながる密度の高いキーワード構造を特定することが可能であり、これら内部のサブ構造は特定の話題を要約したものに对应すると考えることができる。また、共起ネットワークグラフで特定可能な話題は、出現頻度が上位のキーワードから構成されている主要な話題が中心であり、比較的出現頻度が低いキーワードから構成されている話題は特定が困難な点については注意が必要である。
- 対応分析は、回答者属性別（性別、年代、職業など）に、出現キーワードの特徴を2次元空間に表示したものであり、属性とキーワードが近い位置にプロットされるものは、その属性に特徴的に出現するキーワードであると考えられる。また、対応分析では、基本的には横軸（第1軸）と縦軸（第2軸）の2次元空間上に関係性をプロットするが、全体の位置関係の特徴（慣性）がどの程度説明されているかは、成分（%）によって表されている。この成分（%）が低いと、得られた2次元空間上のグラフでは、特徴が説明しきれていない可能性が高く、表示されている位置関係が偶発的に生じている可能性が高い点については注意が必要である。
- 共起ネットワークグラフによる可視化の結果、全体で8つの話題を特定することができた。特定された話題のサブ構造を構成するキーワードより、「滋賀の自然環境の魅力発信や子育て環境、自然災害」および「公共交通や道路整備」、「高齢者の交通対策」、「医療福祉サービスの充実」、「京都および大阪との関係性を踏まえた生活不便地域への対応」、「教育の充実および改善」、「障害福祉」、「琵琶湖および自然環境保全」についてが、比較的県民が高い関心を持つ県政話題であると考えられる。また、キーワードの出現頻度を表す円の大きさと、サブ構造を構成しているキーワード数より、最も大きな話題を構成していたのは「滋賀の自然環境の魅力発信や子育て環境、自然災害」であるが、次いで「公共交通や道路整備」、「高齢者の交通対策」は、どちらも交通に関するものであり、2つを合わせると道路交通整備や高齢者のバスを中心とした公共交通については、回答者全体として大きな話題

を構成していると考えられる。

- 対応分析の結果、問1の性別では、女性は仕事や企業、子育てや高齢者および障害者介護など、働き方と福祉に関する話題、男性は滋賀の情報発信や道路整備、事業、県政および施策などに関する話題が中心で、ジェンダーバランスの偏りが見られる。コロナや公共交通に関する話題は、第1軸上で原点付近に位置しており、共通した話題となっている。
- 問2の年代では、第1軸上で49歳以下グループと65歳以上グループに分けられ、50-64歳グループは原点付近に位置しており、全年代から言及されている話題について主に言及していると考えられる。49歳以下のグループは、子育てや教育、労働、道路交通に関する話題が中心で、65歳以上のグループは、福祉や自然環境に関する話題が特徴的であるなど、年代に応じたライフステージの違いによる問題関心の傾向が表れていると考えられる。
- 問3の地域別は、湖西地域が山や災害、情報発信に関する話題が特徴で、湖南および東近江地域が、道路整備や高齢化、医療に関する話題、大津と湖東地域がバスや歩道など交通に関する話題、甲賀と湖北地域が企業支援や仕事、働くなど労働に関する話題が特徴的であり、それぞれの地域特性が表れていると考えられる。
- 問4の職業別は、「常勤職」が道路交通や子育て環境について、「パート・アルバイト・派遣」などが福祉や仕事の改善などについての話題が特徴的で、職業により社会的課題が異なることが表れていると考えられる。
- 問5の居住履歴は、県外に転出後に再度転入したグループは、近隣の大阪や京都との比較や情報発信について、県外から転入したグループは、琵琶湖などの自然や子育て環境に関する良さやインフラ整備面での課題などについて、移動のないグループは災害や福祉などの話題が特徴的である。居住パターンの違いによる他地域との生活経験の比較により、関心が異なると考えられる。
- 問6の今後の滋賀への居住意向では、「住み続けたいと思う」と回答したグループでは、自然や文化的な側面を含めた豊かさや働きやすさなどを評価する一方で、観光面や教育、仕事などについての課題が挙げられていた。「住み続けたいと思わない」と回答したグループは、慢性的な道路渋滞などのインフラ整備への要望や税金の側面での課題についての話題が特徴的であった。
- 問7の滋賀に誇りを持っているかでは、「持っている」または「どちらかというを持っている」と回答したグループは、交通整備や地域活性化、高齢化対策、教育対策などについての話題が特徴であった。「あまり持っていない」と回答したグループでは、バスなど公共交通や病院施設などの医療環境、企業立地などについての具体的な課題に関する話題が特徴であった。
- 問8の県政に関心をもっているかでは、「関心がある」および「まあまあ関心がある」という関心を少なくとも持つグループと、「あまり関心がない」および「関心がない」の関心が少ないグループに第1軸上で分割されていた。県政に少なくとも関心を持つグループは、教育や企業、道路、障害者、豊かさなどの話題について関心を持っていると考えられる。関心が少ないグループは、他県との比較や学校、医療、税金、バスや歩道などの交通についての話題が特徴的であった。

④今後の施策への反映

可視化分析の結果を関係所属と共有し、今後の政策形成に参照・活用する。

(1) 自由記述

問 28 滋賀県について、4つの分野(※)「①人、②経済、③社会、④環境」および⑤その他で、期待すること、不満に思うこと、他の都道府県にない魅力など、ご意見がありましたらご記入ください。

◎ご意見は、①～⑤のうち1つでも、いくつでもかまいません。

◎文章なら 300 字以内(多くても 400 字まで)、絵・短歌・俳句でもかまいません。

(N=354)

【問28県政に対する意見出現上位50語】

順位	抽出語	出現回数	順位	抽出語	出現回数
1	滋賀	213	26	車	41
2	人	148	27	県民	40
3	多い	118	28	子育て	39
4	子ども	108	29	問題	38
5	県	97	30	行く	36
6	環境	95	30	施設	36
6	琵琶湖	95	30	利用	36
8	コロナ	73	33	知る	35
9	良い	67	34	特に	32
10	考える	66	35	見る	31
11	社会	62	35	仕事	31
11	少ない	62	35	大津	31
11	道路	62	38	安心	30
14	住む	59	38	期待	30
15	交通	57	38	大変	30
15	生活	57	38	知事	30
17	地域	56	42	バス	29
18	教育	49	42	観光	29
19	お願い	48	42	企業	29
19	充実	48	42	災害	29
19	整備	48	42	発信	29
22	高齢	46	47	湖	27
23	対策	44	47	増える	27
23	必要	44	49	福祉	26
25	自然	43	49	力	26

※ 可視化分析資料の掲載について

次ページ以降にテキストマイニング分析、対応分析の資料を掲載します。報告書にはモノクロ版で掲載しますが、県ホームページではカラー版でご覧いただけます。

問28 「県政に関しての意見」 共起ネットワークグラフによる要約

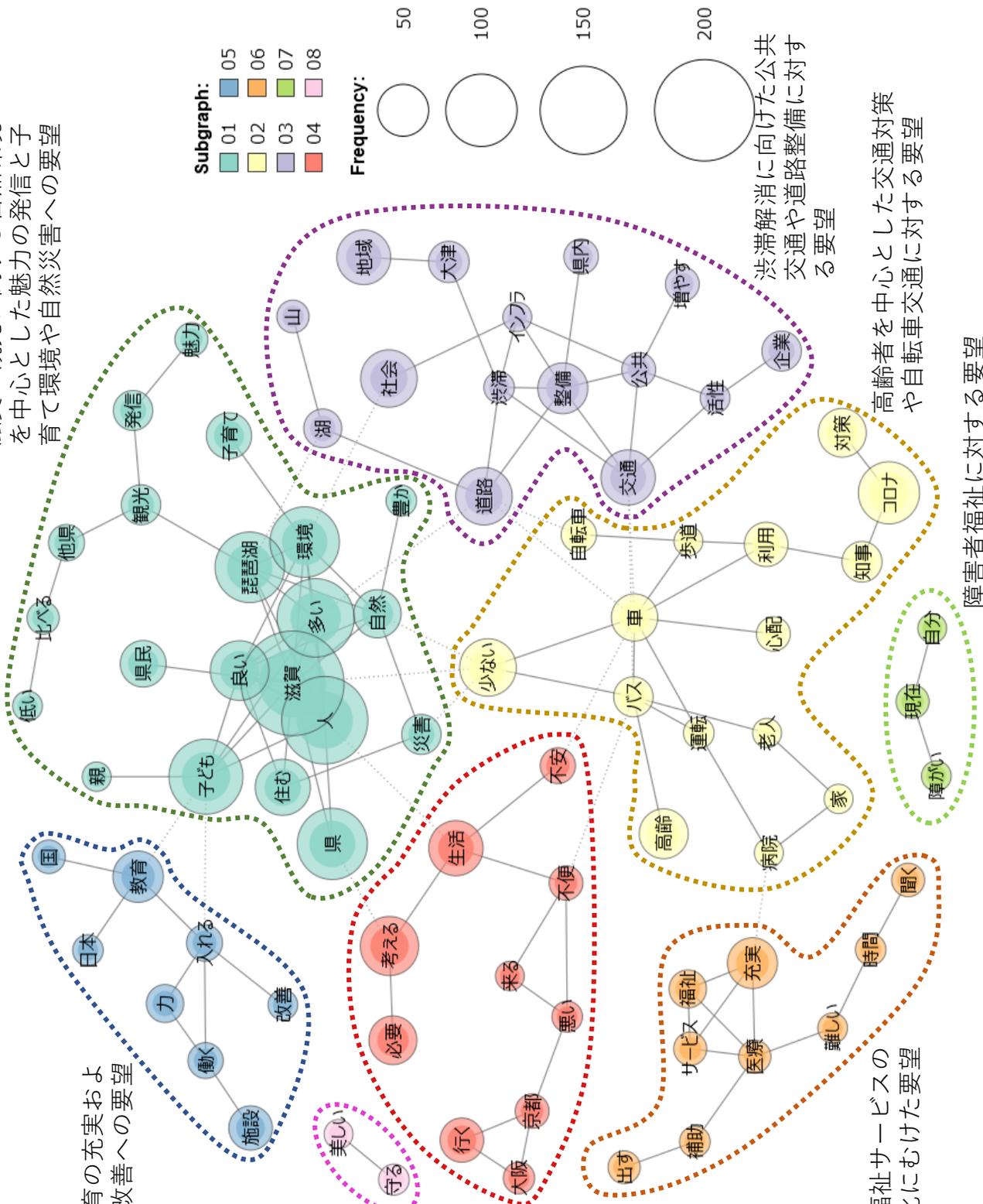
滋賀の観光に関する自然環境を中心とした魅力の発信と子育てで環境や自然災害への要望

教育の充実および改善への要望

琵琶湖および自然環境保全への要望

京都・大阪との関係性を踏まえた生活不便地域への対応の要望

医療福祉サービスの充実に向けた要望



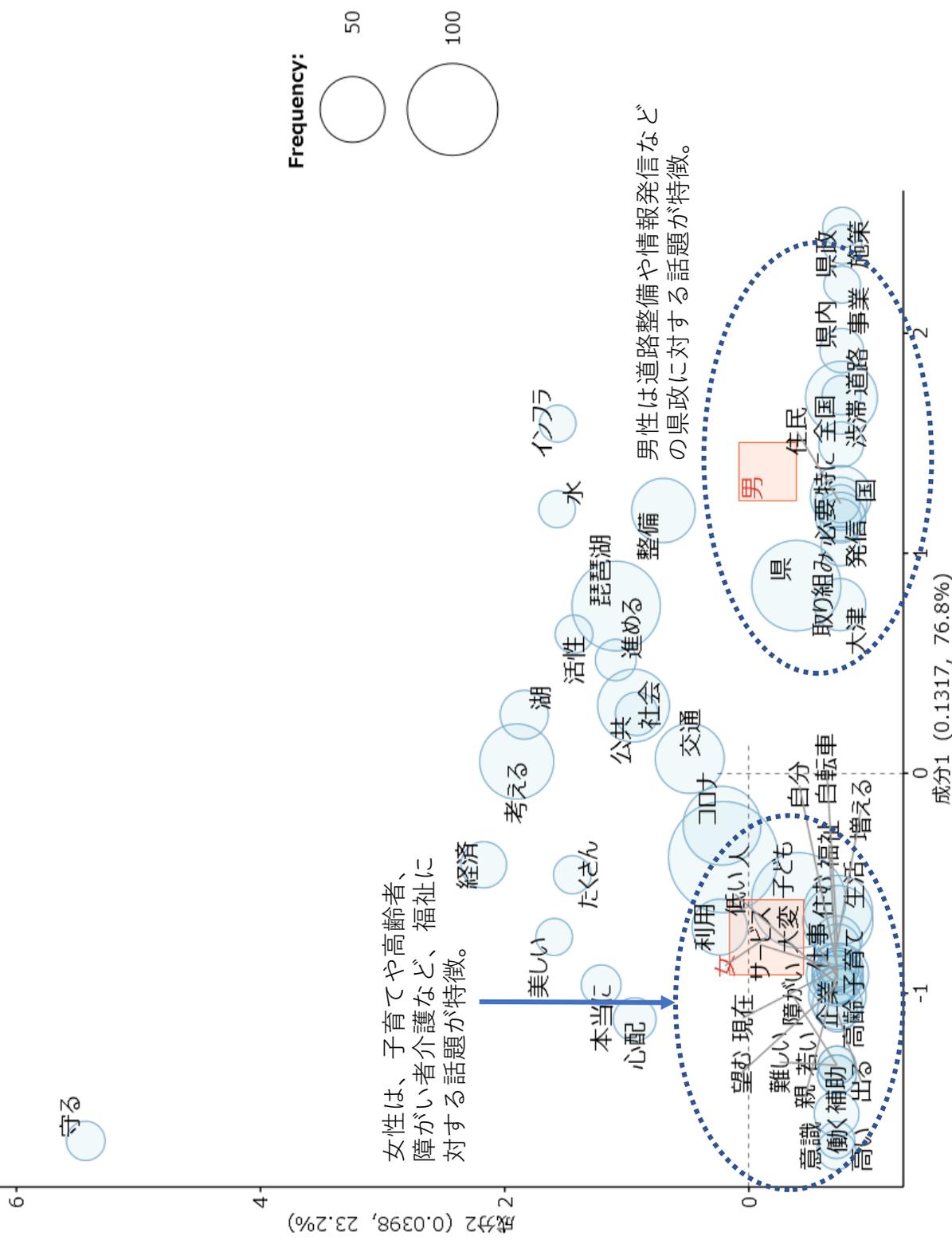
渋滞解消に向けた公共交通や道路整備に対する要望

高齢者を中心とした交通対策や自転車交通に対する要望

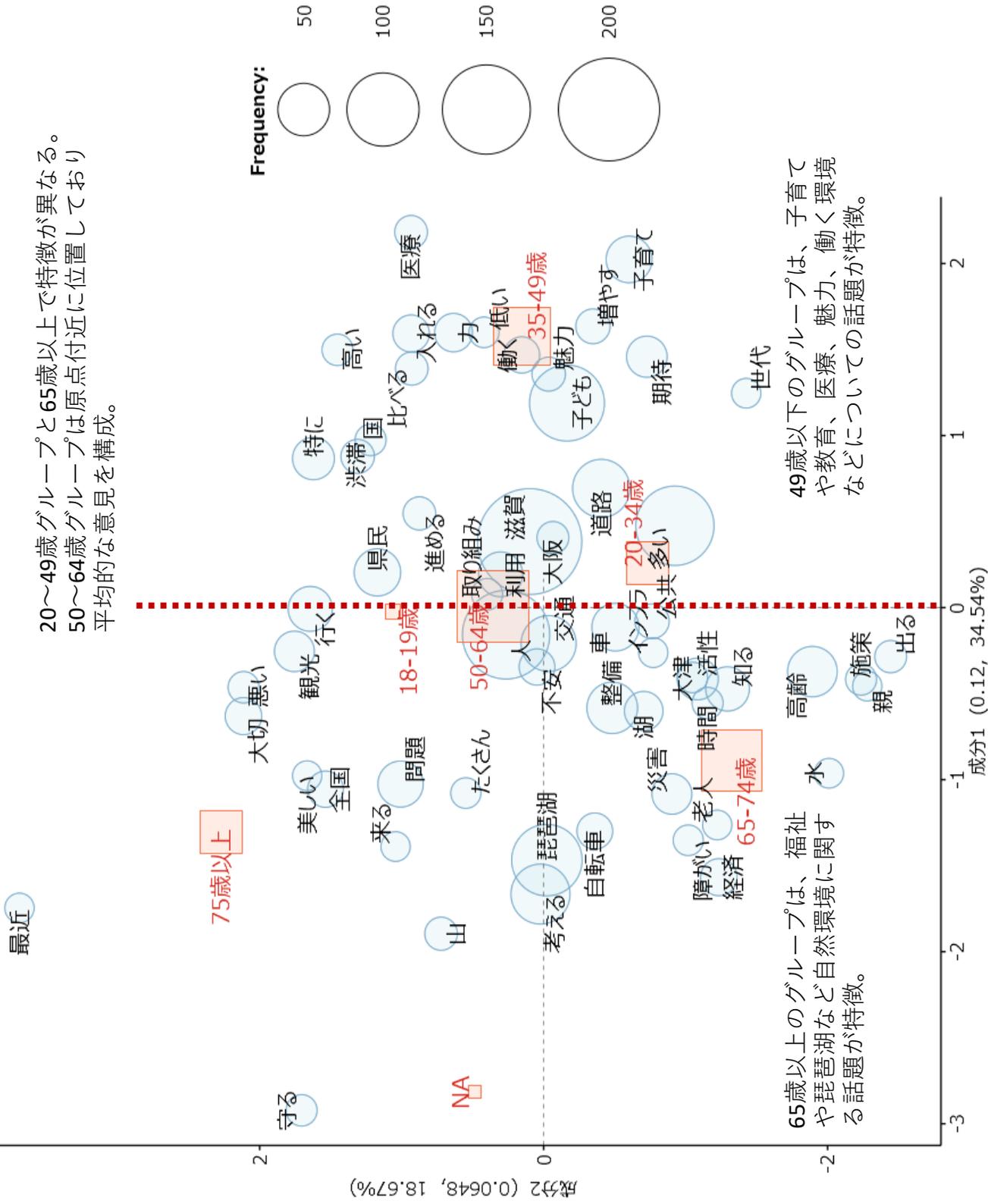
障害者福祉に対する要望

問1性別と問28「県政に関する意見」の対応分析による特徴把握

NA



問2年代と問28「県政に関しての意見」の対応分析による特徴把握

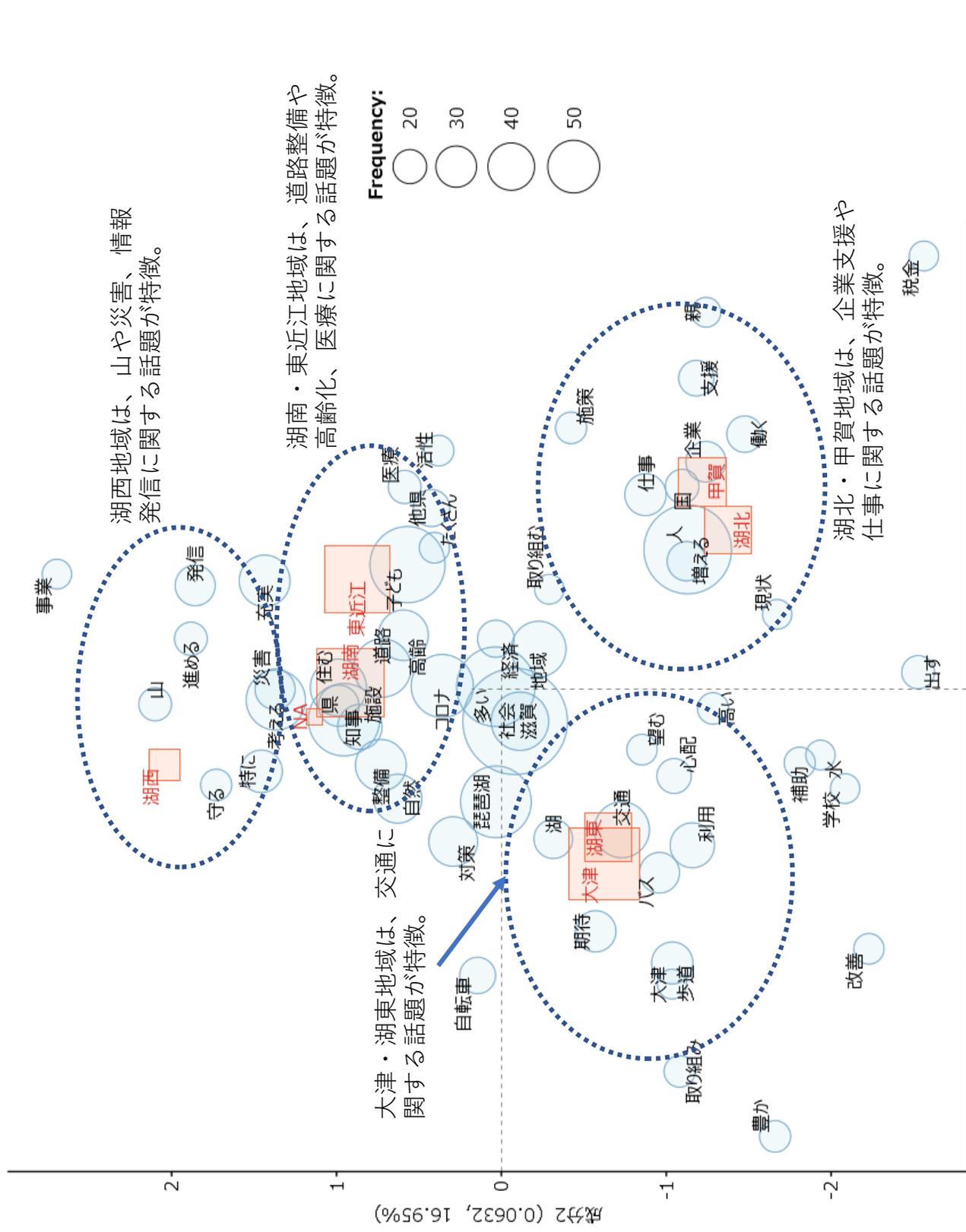


20～49歳グループと65歳以上で特徴が異なる。
 50～64歳グループは原点付近に位置しており平均的な意見を構成。

49歳以下のグループは、子育てや教育、医療、魅力、働く環境などについての話題が特徴。

65歳以上のグループは、福祉や琵琶湖など自然環境に関する話題が特徴。

問3地域と問28「県政に関しての意見」の対応分析による特徴把握



事業

山

進む

発信

守る

特に

考える

災害

放棄

住む

湖西

湖東

湖北

知事

県

整備

自然

道路

高年齢

子ども

医療

他県

活性

五ヶ嶽

コナ

対策

琵琶湖

多い

社会

経済

地域

湖

湖東

交通

期待

歩道

利用

補助

学校

水

改善

豊か

取り組み

ハズ

心配

高い

出ず

出

増える

人

国

企業

甲賀

湖北

仕事

国

甲賀

湖北

支援

働く

現状

現

取

組

み

施

策

湖西

湖東

湖北

知事

県

整備

自然

道路

高年齢

子ども

医療

他県

活性

五ヶ嶽

コナ

対策

琵琶湖

多い

社会

経済

地域

湖

湖東

交通

期待

歩道

利用

補助

学校

水

改善

豊か

取り組み

ハズ

心配

高い

出ず

出

増える

人

国

企業

甲賀

湖北

仕事

国

甲賀

湖北

支援

働く

現状

現

取

組

み

施

策

-2

0

2

成分1 (0.0839, 22.49%)

成分2 (0.0632, 16.95%)

2 注：全質性の約40%しか説明できていないため、配置が偶発的な可能性がある。

問4職業と問28「県政に関しての意見」の対応分析による特徴把握

